

# ほほ笑みの街 亀ヶ崎

第5号

平成28年7月30日発行



みんなの思いを胸に。選手宣誓!! (2016年6月5日 第3回自治会親善大運動会)

## 「ほほ笑みの街亀ヶ崎」を キャッチフレーズに!



亀ヶ崎コミュニティ振興会  
副会長 渡部敏次

亀ヶ崎コミュニティ振興会は分離独立から3年、「コミュニティ防災センター建屋」の無い状況のなかで、東禅寺、港南コミュニティ防災センターを借用し楽しく活動していますが、地域の皆さんには、分かりづらく、使用にご不便をお掛けしており申し訳無く思っています。

亀ヶ崎コミュニティ振興会の役割をつぎのようになっています。

### ①「住民参加の地域密着型」

亀ヶ崎コミュニティ振興会は、人と人との交流・つながりを大切にした「ほほ笑みの街亀ヶ崎」をキャッチフレーズに、楽しく人々が集うような行事、イベント等を通して地域の活性化や福祉の充実を図ります。

### ②「自主防災活動を活発に安全・安心な街に」

必ず起きる災害に備え、自主防災活動を活発にし避難訓練を通し安全・安心な街づくりを心掛けます。

### ③「顔と顔が見え、言葉を交わし合う街に」

最近SNS等の利用などで、日本の特有な文化である「回覧板」等がなくなる恐れがあります。「向こう三軒両隣」顔と顔を合わせ「生の言葉」で伝え、心のゆきかう街にしていく事が大切です。

この3つの役割の実現に向けて取り組んでいきたいと思えます。

# 「共助の心」で地域の更なる前進を！

## 第3回亀ヶ崎コミュニティ振興会総会開催

第3回亀ヶ崎コミュニティ振興会総会が、4月16日開催され27年度事業報告と収支決算書、28年度事業計画及び収支予算案が原案どおり可決されました。

### 平成28年度事業計画

#### 一、基本目標

当振興会では住みよい地域社会を目指し、住民の声を地域づくりに反映させ「協働」を共にしたコミュニティ活動を推進することを基本目標とします。

#### 二、具体的事業

##### ◎事務局体制の強化

今年度、市の補助金制度が交付金制度に変わり予算が増額されました。これを契機にパート事務員を1名増員し、月々金曜日の午前中、職員を配置して事務局体制を強化します。

##### ◎地域福祉の推進

地域に住む全ての人が「自分らしく安心して暮らせる」福祉のまちづくりを目指し「住民参

加型」の活動を推進します。具体的な取り組みとしては、亀ヶ崎社会福祉協議会と連携し地域での「新たな支え合い活動」の取り組みの推進を図ります

##### ◎生涯学習で健康づくり

自主カルチャー・スポーツ教室は、地域住民の心身の健康づくりに貢献していきます。昨年度までの高齢者学級・婦人学級を統合し、「亀ヶ崎ほほ笑み学級」を新設しました。「健康で・楽しく・集える学級」を目指します。

##### ◎防災活動内容の充実

「自分の命は自分で守る」ことを肝に命じ防災に強いまちづくりを推進していきます。昨年度は自治会毎に津波訓練を実施しましたが、今年度は、新企画で更に内容の充実を図ります。

##### ◎青少年の健全育成

次代を担う青少年の健全育成を図るため、「地域みんなの子ども」と位置づけ、各種行事を

実施します。また、地域での「声かけ、ふれあい」活動を通し非行や犯罪から守る活動を推進します。

##### ◎絆を深める広報活動

地域の「絆」がより深く込められることを願い情報伝達に貢献できる広報活動を目指します。

##### ◎亀ヶ崎コミセン建設に向けて

昨年度、コミセン建設に向けて「亀ヶ崎コミュニティ防災センター建設準備委員会」が発足しました。当面この会を中心に活動を展開していきます。  
①地域住民を対象に建設実現に向けて諸活動等を実施します。  
②地域住民並びに各諸団体の皆さんとの意見交換会と協力体制を構築していきます。



### 役職員紹介

会長

本間 宏 (末広町東部)

副会長

天野 紘典 (横道町)

渡部 敏次 (亀ヶ崎二丁目)

事務局長

東根 幸紀 (最上町)

理事

守屋 隆 松本 文雄

五十嵐良吉 栗田 幸春

高山 良雄 今野 高志

菅原 秀夫 加藤 曠

佐々木和資 堀 正彦

阿部 克明 武田 正三

渡部 公夫 大内 和子

阿部 宣子 大淵ミネ子

藤丸 美生 富樫 昌治

木山 敏弘 五十嵐康達

田澤 薫

監事

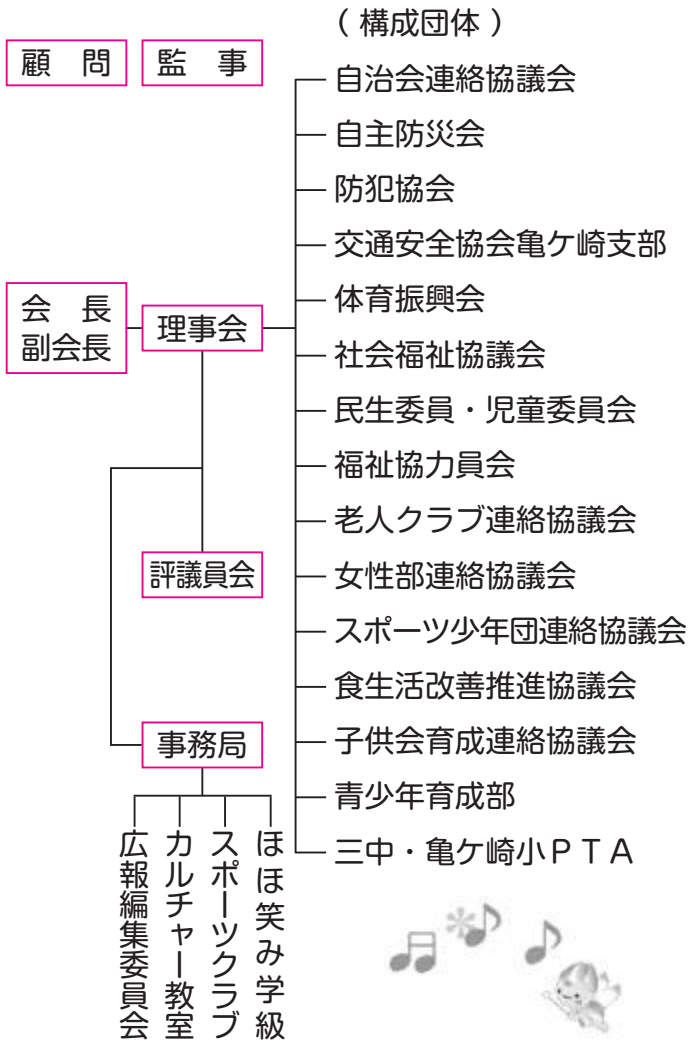
工藤 晃一 伊東 勉

事務職員

金野 一枝 齋藤まゆみ

平成28年度

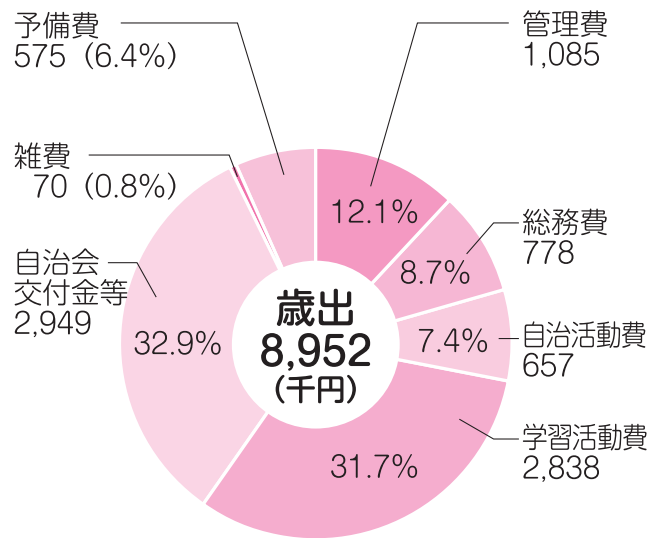
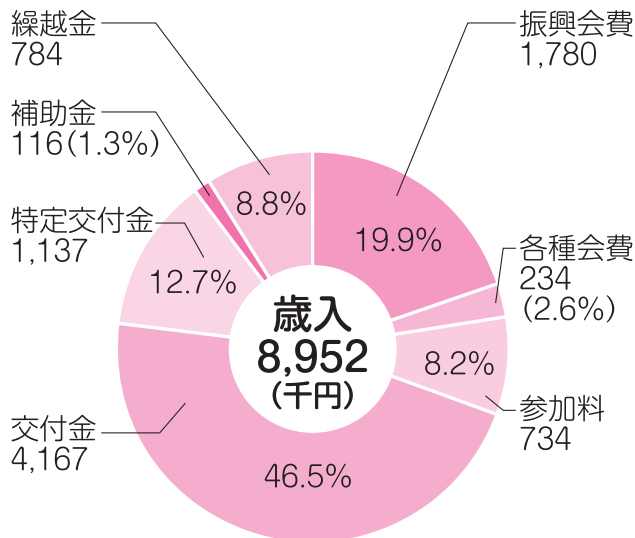
〔組織図〕



〔主な事業計画〕

- 5月5日 第65回酒田市子ども祭り参加
- 6月5日 第3回亀ヶ崎学区自治会親善大運動会
- 6月11日 第1回おもしろ広場
- 7月 会報「ほほ笑みの街亀ヶ崎」第5号発行
- 7月 夏の巡回指導(防犯パトロール)
- 8月21日 第3回亀ヶ崎学区自治会親善球技大会
- 9月 亀ヶ崎自主防災会総合防災訓練
- 10月2日 酒田市沿岸地区津波避難訓練
- 10月8日 第2回おもしろ広場
- 10月14日 安全と安心のまち酒田・市民大会
- 11月5日 第3回文化祭(ほほ笑み祭りin亀ヶ崎)
- 6日 第3回文化祭(ほほ笑み祭りin亀ヶ崎)
- 11月 第3回亀ヶ崎地区自治会親善G・G大会
- 12月10日 第3回おもしろ広場
- 1月 第3回新春の集い(囲碁、将棋、麻雀大会)
- 1月 第1回亀ヶ崎「ほほ笑みサロン」
- 1月 軽スポーツフェスティバル
- 2月 会報「ほほ笑みの街亀ヶ崎」第6号発行

〔収支予算〕



# 交通事故ゼロ「ほほ笑みの街」 亀ヶ崎

交通安全協会亀ヶ崎支部

支部長 阿部 克明

交通安全協会亀ヶ崎支部では、地区内の交通事故ゼロを目指しつぎのような活動をしています。

## ●早朝街頭指導での見守り

毎月の交通安全の日、午前7時30分から支部役員28名が通学路8カ所の交差点に立ち、登校児童及び地区住民の交通事故防止の見守り活動を行っています。また、広報車は亀ヶ崎小学校児童が歌っている「交通安全の歌」を流しながら、地区内を巡回しています。



♪仲良しこよし登校隊、並んで2列右側を・・・♪ 地区内をパトカーと支部広報車が巡回中



横断には気をつけよう!! 雨の日も交通指導有り難う

## ●家庭訪問指導で呼びかけ

交通安全は家庭から、悲惨な交通事故・死亡事故を無くするため、亀ヶ崎地区二、八四三世帯を自治会単位に区分し、自治会長と役員が各家庭を訪問してチラシ・夜光反射材を配布して事故防止を呼びかけております。昨年の県内の交通死者は57名、内高齢者は35名で大変厳しい状況です。主な原因は、歩行者の道路横断中の事故、車を運転中の追突事故、はみ出し運転による正面衝突事故などです。

道路を歩くとき、自転車に乗るとき、車を運転するときには細心の注意をして「しっかり止まって、はっきり確認」を実行し、事故を起こさないよう、事故に遭わないようお願いいたします。

# 健康で楽しく集える学級

亀ヶ崎ほほ笑み学級始まりました

5月30日第1回例会がありました。この学級は昨年度までは亀ヶ崎地区・松原学区の皆さんが合同で、いつまでも若々しく心と身体の健康について学ぶ高齢者学級・婦人学級として活動していたのを、今年度から亀ヶ崎コミュニティ振興会独自事業として、装いも新たに発足したものです。

当日は53名の出席者を得て、酒田市社会福祉協議会地域福祉課碓谷勉氏を講師に、地域での「新たな支え合い活動の取り組み推進」をテーマとして、超高齢社会に生きる知恵と工夫についてお話がありました。

話の中心は「明日は我が身・お互いさま」の心で支え合うことが大切であり、このことを共有し、連鎖II地域の広がり、近所は近助、近所(助力)アップが高福祉に結びつくということでした。



第2回例会は、6月13日酒田が生んだふるさとの詩人「吉野弘を語る」と題し、酒田市資料館調査員相原久生さんからお話を聞きました。吉野弘さんは、大正5年1月酒田に生まれ、昭和17年酒田商業高校を卒業後、帝国石油(株)に入社し酒田の鉱業所に勤務され、在職中の昭和22年頃から詩作を始めています。昭和44年2月姪の結婚祝いに贈った詩が「祝婚歌」です。分かりやすい言葉で深く優しい詩を残した吉野弘氏の人柄、詩の評価についてのお話は酒田人として共感させられました。

## メディアコントロールの 取り組み

亀ヶ崎小学校養護教諭

横山 明子

本校では、5月に「生活チャレンジ週間」を実施し、三中学区で連携して取り組んでいるメディアコントロールに挑戦しました。音や映像が常に流れている生活の中、平日の一日、テレビやゲームなどのメディアを我慢する日を設定します。子ども達も大変だったと思いますが、協力する家族もかなりの「チャレンジ」だったと思います。

実施後の家庭からのコメントに家族の会

話が増えた。お手伝いをしてくれた。市立図書館を利用して家読が充実した。と挑戦を楽しむ姿が多く見られ亀ヶ崎学区の家庭の素晴らしさを実感しました。



憩いの場

## 台湾研修旅行で広がる視野

酒田東高等学校

生徒会長 相 蘇 凌

台湾研修旅行では、武陵高校との交流が特に印象に残っています。同年代の台湾の学生と日本語・英語・中国語で会話することで、言語の壁を越えて同じ国際人としての感覚を体験出来ました。武陵生はとても外交的で、楽しい時間を過ごせて良かったです。

また、異国の気候や食物、人柄などに直に触れることで、机の上では得られない深い異文化理解を持ったり、日本人の強みや海外に学ぶべき点を再認識することが出来たのも大きかったです。

親日の台湾で過ごした3泊4日はとても良い刺激になりました。機会があればまた台湾を訪れたいです。



2015年11月12日～15日

## 地域とともに

酒田市立第三中学校

生徒会副会長 富 樫 美 郁

本校では、三中コミュニティ略して「三コミ」という活動を行っています。これは、私たち中学生一人ひとりが、自分たちの地域でどんなことができるかを考え、地域への貢献、地域の方々とのふれあいを大切にする活動のことで、三年生を中心として活発な意見交換をし、毎年新しい活動が増えてきて、より「三コミ」は勢いを増しています。今年の夏にも、多くの活動をしていきます。

他にも、生徒会活動として、学区内の小学校に出向き、三中の自慢である「あいさつ」を広める活動をしていきます。

これからも、地域との交流を大切にし、地域に根付けるような活動をしていきたいです。



「夏祭りの私たちの仕事は・・・」  
6月8日 恒例の地域懇談会

カルチャークラス

太極拳で筋力維持

太極拳というネーミングからは勇ましい武術拳法のように聞こえますが、実際は穏やかな「舞」のような感じ。今年度は13名の会員が、芝田毅講師と佐藤貞子講師のお二人から指導を受けています。

激しく筋肉を使う要素は一切無いのですが、夜7時から9時までの練習を終えたあとは、早く風呂に入って横になりたいと思うほどです。ビシッと決めて演舞するまでには至りませんが足腰の筋力維持効果は大きいと感じています。(加藤 良二)



ゆるやかに円を描くように・・・

亀ヶ崎 其の五 仏閣訪門

曹溪山 青原寺

慶長五年(一六〇〇)亀ヶ崎城主志村伊豆守光安の菩提寺として建立されたのが青原寺である。亀ヶ崎という地名は慶長八年、酒田の浜に大亀が上がった事を山形城主最上義光に知らせた所大變めでたいことだといひこれまでの東禅寺城を亀ヶ崎城と改めたことが始まりである。



裏庭にある質素な五輪塔二基が志村夫妻の墓石である。

古来青原寺は亀ヶ崎の寺として今日に至っている。平成に入り亀の上に乗っている観音様の御寄進をいただき、今は長寿観音として地元の信仰をあつめている。亀ヶ崎も一丁目から七丁目までとなり、みずほ通りは、地元はもとより酒田市の中心的存在としての繁栄を喜んでいる。(青原寺住職 渡部行雄)

第3回亀ヶ崎学区自治会親善大運動会

6月5日、初夏の爽やかな風の中、亀ヶ崎小学校グラウンドで第3回学区大運動会が開催されました。入場行進には各チームとも意欲満々で臨んでいます。亀小一年生には初めての運動会。走る度に「可愛いの～」と歓声。三中生の補助員の仕事ぶりも素晴らしい。新緑のもと参加者皆が楽しんだ1日でした。結果は次のとおりです。

- ◎優勝 立町 ○準優勝 亀ヶ崎3東
- 第3位 末広町西部
- 第4位 若原町若竹町・東部
- 第5位 若竹町北部・堤町
- 第6位 横道町 ●第7位 最上町
- 第8位 亀ヶ崎二丁目 (以下省略)



編集後記

◇体重が増えません。胃の検査をしたところ、少し弱っているとか。薬と食べ物で体重を増やして、体力をつけて暑い夏を乗り切ります。健康第一。(栗田)

◇最近ノルデックウオーキングを始めた。ある人が杖一本で足りなくて二本になったかと言われたらしい。人目を気にせず一人で歩けるよう頑張ります。(五十嵐)

編集委員

- 五十嵐美智
- 栗田幸春
- 金野一枝
- 東根幸紀
- 藤丸美生
- 本間宏
- (五十音順)